

社会科学学習指導案

日時 平成28年10月6日(木)

5校時

場所 庶路中学校 2年A組

1. 単元名 「近代世界の確立とアジア」 授業者
教材名 『ペリーの来航』（教育出版：『中学歴史 未来をひらく』）

2. 単元について

(1) 単元のねらい

欧米諸国では市民革命・産業革命を経て人々の生活が大きく変化し、市場拡大を求めた後に列強と呼ばれる国々がアジアまで進出してくることになる。その影響は極東の日本にも現れ、世界との複雑な関わりの中で日本が開国し、幕府の滅亡へと進んでいったことを理解させることをねらいとする。

(2) 生徒の実態

社会科のみならず、勉強に対して非常に苦手意識を持っている生徒が多い。忘れ物も多く、学習に対する意欲もあまり高くない。資料の読み取りについても、あまり深く考えずに思いつきで発言する生徒も多くみられ、じっくり考えることがあまりできていない。もう少し努力することができれば点数が伸びる生徒も多いと思われるが、周りに流されて勉強をあまりしない状況に慣れてしまっている状態がみられる。

3. 単元の目標

【社会的事象への関心・意欲・態度】

市民革命や産業革命を経た欧米諸国がアジアに進出したことに関心を高め、開国したことによる政治的・経済的な影響について、意欲的に追及しようとしている。

【社会的な思考・判断・表現】

市民革命や産業革命がもたらした欧米諸国の社会構造の変化が、日本をはじめとしたアジアに及ぼした影響について多面的・多角的に考察して公正に判断し、適切に表現している。

【資料活用の技能】

資本主義世界の成立によりもたらされたアジアへの影響や、開国後に攘夷運動が高まり、幕府が滅亡するに至った経緯について、様々な資料を活用して追及し、考察した結果をまとめている。

【社会的事象についての知識・理解】

欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアに進出したことや、幕府が開国したことで、尊王攘夷運動が活発になり、幕府の滅亡につながっていくことを理解している。

4. 本単元の言語活動について

歴史的な事象をグラフや図などと関連付けながら考察させた後、交流場面を設定する。このような場面を設定することで様々な考えに触れることができ、自らの考えがさらに深まるように図る。

5. 単元の指導計画(10時間扱い)

時	主な学習内容	評価				◇具体的な評価規準 【評価方法】
		態	思	技	知	
1	「王は君臨すれども統治せず」 ・絶対王政から市民革命を経て議会政治へと移り行く様子をまとめる。	○		○		・絶対王政についての関心を高め、イギリスで革命が起こった理由を調べようとしている。 ・絶対王政から市民革命を経て議会政治が始まるまでの過程や啓蒙思想家について、年表や資料を活用し調べている。 【観察・発言・プリント】
2	「代表なくして課税なし」 ・アメリカの独立やフランス革命を通して社会のしくみが変わったことを知る。		○		○	・13の植民地の人々が本国に求めた権利について各資料から多角的に考察している。 ・アメリカの独立戦争やフランス革命の歴史的意義を理解している。 【観察・発言・プリント】
3	「世界の工場」の光とかげ ・産業革命によって社会のしくみが大きく変わり、資本主義が確立した様子を理解する。	○			○	・産業革命に関心を高め、社会や人々に与えた影響について、意欲的に調べようとしている。 ・イギリスが「世界の工場」と呼ばれ資本主義国に成長し、日本を始めとした国々も19世紀末までに産業革命を成し遂げたことを理解している。 【観察・発言・プリント】
4	「強大な国家をめざして」 ・欧米列強各国が力をつけ、近代化をすすめた様子をまとめる。		○		○	・欧米列強の成立の要因について、経済力や軍事力などの面から考察している。 ・独立後のアメリカの発展や欧米列強の成立の過程について資料を活用し調べている。 【観察・発言・プリント】
5	「国をゆるがす綿とアヘン」 ・イギリスの進出によるアジアの植民地化を通して、欧米列強が進出した理由や、インドや中国でおきた抵抗運動の背景や要因について考える。	○	○			・欧州の国々がアジアの国々を植民地化した理由や、アジアの国々の抵抗について関心を高め、意欲的に調べようとしている。 ・インドの大反乱や、アヘン戦争・太平天国の運動の背景や要因について考えている。 【観察・発言・プリント】
6	「内と外の危機」 ・内外に生じた危機に対して、幕府や藩がとった対応について理解する。				○ ○	・日本への外国船の接近の様子について、地図や年表をもとに調べている。 ・外国船の接近と深まる財政難という内外の危機に幕府は改革を進めるが、失敗しさらに危機を深めたことを理解している。 【観察・発言・プリント】
7 本 時	「ペリーの来航と開国」 ・様々な資料から、ペリーの来航の目的や背景を自分の言葉で説明することができる。		○			・様々な資料を結び付け、ペリーが日本に来航した目的や背景を考察し、自分の言葉で説明している。 【観察・発言・プリント】
8	「不平等な通商条約」 ・日米修好通商条約が不平等だったことを理解し幕末の混乱の様子をとらえる	○			○	・開国が日本と欧米諸国に及ぼした影響について関心を高め、幕末の混乱の様子を意欲的に調べようとしている。 ・ペリーの来航から、諸外国との不平等条約の締結までの動きについて理解している。 【観察・発言・プリント】

9	<p>「新たな政権をめざして」</p> <p>・社会や幕府政治に開国がもたらした影響を考える。</p>	○	○	<p>・攘夷運動の高まりが倒幕へと動き、薩長同盟が結ばれた理由について、長州藩・薩摩藩と欧米の勢力との関わりなどから多角的に考察している。</p> <p>・開国が幕府政治に与えた影響について、貿易による品不足や物価上昇などから人々の不満が高まった様子を読み取っている。</p> <p>【観察・発言・プリント】</p>
10	<p>「御政治売り切れ申し候」</p> <p>・社会不安の中、世直しと江戸幕府の滅亡についての流れをつかむことができる。</p>	○	○	<p>・江戸幕府滅亡の経緯について、民衆の力や薩摩藩、長州藩を中心とした倒幕運動などから多角的に考察している。</p> <p>・倒幕運動が広がり、民衆の「世直し」への期待が高まる中で、幕府が大政奉還をして政権が朝廷に移ったことを理解している。</p> <p>【観察・発言・プリント】</p>

6. 本時について

(1) 本時の目標

【社会的な思考・判断・表現】

・様々な資料を結び付け、ペリーが日本に来航した目的や背景を考察し、自分の言葉で説明している。

(2) 本時における『言語活動』

・複数の資料のなかからペリーが日本に来航した目的や背景を読み取り、自分の言葉で説明し、他人の意見を聞くことで自分の意見をより深める場面を意図的に設定することにより、思考力がさらに深まる。

(3) 本時の展開 (7 / 10 時間目)

	学 習 活 動	教師の働きかけ	評価・留意点
導 入	<p>・ペリーについて知っていることを発表する。</p> <p>○日本を開国させた人</p> <p>○アメリカ人</p> <p>・本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>・ペリーの顔を提示する。</p> <p>・小学校でも学習したことを思い出させる。</p>	<p>・数人に指名</p>
展 開	<p>本時の課題：ペリーが日本に来た目的や背景を、さまざまな資料とつなげて説明しよう</p>		
	<p>◎それぞれの資料がどのような内容か確認する。</p> <p>資料①産業革命の様子</p> <p>②アメリカ大統領の手紙</p> <p>③アメリカの領土拡大 / アメリカの中国との貿易</p> <p>④欧米のアジア進出 / アヘン戦争</p> <p>⑤南京条約</p>	<p>・今まで学習したことに関係することを提示する。</p> <p>・それぞれの資料でキーワードを示す。</p> <p>・世界地図などを活用して視覚的に理解を促す</p> <p>・資料の読み取りが難しい生徒は「大統領の手紙」をよく読むようにアドバイスする。</p>	<p>・キーワードの全体共有</p> <p>・プリント配布。</p> <p>・資料を黒板に提示し、キーワードを板書する。</p>
	<p>課題1：①～⑤の資料を2つ以上関係づけながらペリーが日本に来た目的を考えよう。</p>		
	<p>◎資料をもとにして考える。</p> <p>◆②③アメリカは中国貿易で利益を挙げたかったからだ。</p>	<p>・最低2つは結びつけるように働きかける。</p>	<p>・机間指導</p>

	<p>◆①⑤産業革命により大量に生産したものを中国などのアジアに売りつけるためだ。</p> <p>◆②④アジア進出を進めるために、日本を中継地としたかったんだ。</p> <p>◆②③太平洋岸からの捕鯨関係者から日本で保護してもらうように要求してほしいからだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数を結び付けて考えてもよいこととする。 ・今までの授業を思い出すように呼び掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3の資料を関連付けて、自分の言葉で説明できる。
<p>課題2：グループ内で意見交流し、自分の考えと違う点を見つけよう。</p>			
	<p>◎グループで交流し、他者の意見を聞き考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な内容のみ選択し、メモを取るように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話がしやすいように3～4人のグループとする。
<p>整 理</p>	<p>◎自分と違う意見を参考に、再度理由や背景について考える。</p> <p>◎プリントに自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選択した資料以外のものにも着目させる。 ・2～3名指名し、発表させる。 ・本時を振り返り、ペリーが日本に開国を求めたことで、世界と日本がつながり、日本近代化していったことを確認する。 	<p>評価…思・表・判 様々な資料を結び付け、ペリーが日本に來航した目的や背景を考察し、自分の言葉で説明している。 【観察・プリント】</p>

「ペリーが日本に来た目的や背景」を、
資料をもとに考えよう

番 氏名 _____

ルール：使用した資料は最低2つをつなげて「ペリーが日本に来た目的や背景」を考えてください。

① 個人で考えよう

② グループでの意見交流 メモ

グループ【 班】

--

③ 自分の考えを深めよう。
